

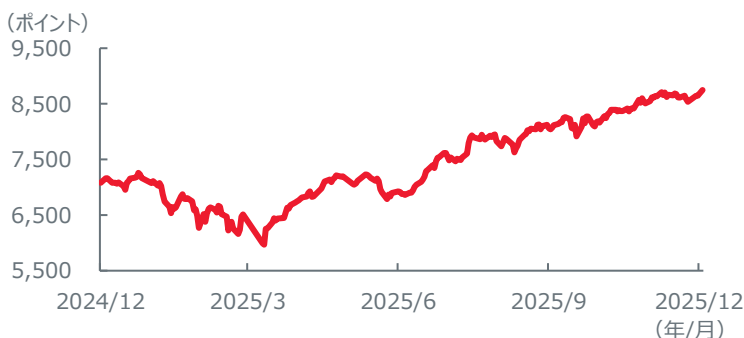
【マーケット振り返り】

株式市場は、銀行株が総じて軟調に推移する一方、素材およびエネルギー関連株の一部やメディア関連株が大幅に上昇したことなどから堅調な展開となり、12月19日比で上昇しました。

債券市場では、インドネシア国債利回りは、取引量が少ない中、1月2日にかけて低下（価格は上昇）しました。インドネシア中央銀行（BI）の利下げ期待を背景とした資金流入が見られたこと、さらに1月2日にBIが市場金利の誘導を目的として行う短期のルピア建て証券（SRBI）の入札において平均落札利回りが低下したことも、国債利回りの低下要因になりました。10年国債利回りは12月19日比で低下しました。

為替市場では、2026年にルピアは安定するとの期待感や追加利下げ期待などから2025年末にかけてルピアは上昇しましたが、1月2日には米長期金利の高止まり観測などから米ドルが買われたことで調整しました。ルピアは12月19日比で、対米ドルで小幅に上昇し、対円では小幅な下落となりました。

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移（2024年12月30日～2026年1月2日）



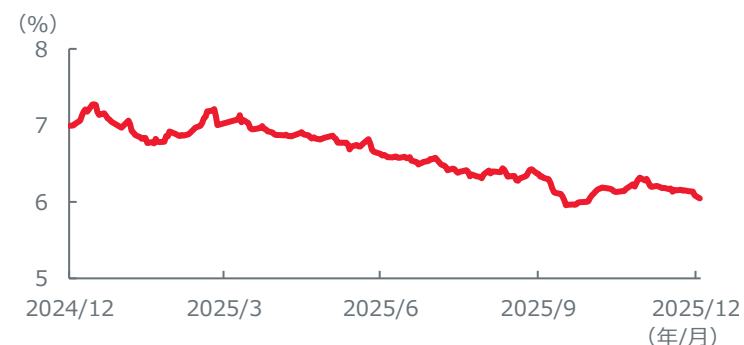
前週（前週休刊のため2週分）

2025/12/19	2026/1/2	変化率
8,609.55	8,748.13	+1.61%

年初来

2025/12/30	2026/1/2	変化率
8,646.94	8,748.13	+1.17%

【債券市場】インドネシア自国通貨建て10年国債利回りの推移（2024年12月31日～2026年1月2日）



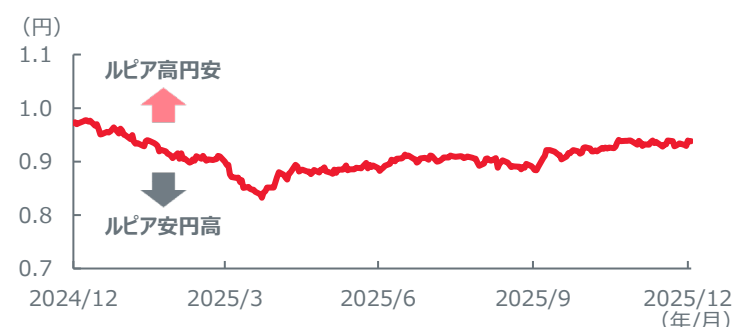
前週（前週休刊のため2週分）

2025/12/19	2026/1/2	変化幅
6.149	6.046	-0.103

年初来

2025/12/31	2026/1/2	変化幅
6.070	6.046	-0.024

【為替市場】インドネシアルピアの対円レート*の推移（2024年12月31日～2026年1月2日） *100インドネシアルピアの対円レート



前週（前週休刊のため2週分）

2025/12/19	2026/1/2	変化率
0.9394	0.9378	-0.17%

年初来

2025/12/31	2026/1/2	変化率
0.9390	0.9378	-0.13%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用するグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社は関係がありません。